

海外派遣留学プログラム「帰国報告書」

記入日	2025/1/22
所属学部・研究科・学府	文学部
所属学科・専攻	国際言語文化学科
留学時の学年	4年

1. 留学先について

留学先大学名		仁済大学校											
留学先所属学部等		リベラルアーツカレッジ・国際語文学部											
留学期間	出発日	2024/2/25		入学日	2024/3/1		修了日	2024/12/20		帰国日	2024/12/26		
住居	☒	大学(紹介)の寮・アパート			☐	民間アパート			☐	その他 ()			
	住居の決め方		留学生は学内寮へ居住することになっていました。										
	通学時間									☒	On campus		
	通学方法		学内の寮のため特になし。										
	居室スペース ✓を入れてください		☐	個室	☒	(2) 人部屋		☐	その他 ()				
	共有スペース ✓を入れてください		☐	完全個室	☐	キッチン	☐	トイレ	☐	バス	☐	リビング	☒
食事	自炊 10 % 学食 40 % 外食 50 % その他 % ()												
保険	海外旅行保険 (名称・加入プラン名)		ジェイアイ傷害火災保険 (千葉大指定)										
	留学先国・大学指定保険 (名称・加入内容)		大韓民国国民健康保険							☒	加入必須		
	その他加入保険												
渡航ルート		ex.) 成田⇄シカゴ (飛行機) ⇄ ウィスコンシン (電車)											
成田 ⇄ 金海空港 (釜山) (飛行機) ⇄ 仁済大学前 (電車+バス)													

2. 留学資金の内訳

自費	☒	貯金	1,300,000 円	☐	アルバイト	円	☐	その他	円
援助	☒	親	400,000 円	☐	家族・親戚	円	☐	その他	円
奨学金	☐	JASSO	円	☐	その他名称 ()		☐		円
その他	☐	()		☐			☐		円

3. 留学にかかった費用

総費用	約	1,700,000	円
-----	---	-----------	---

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復) (一時帰国含む)			75,000	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			170,760	円
その他の保険料	₩	680,000	74,000	円
査証・在留許可証	₩	30,000	3,300	円
住居	₩	1,600,000	175,000	円
光熱費				円
通信費 (Wi-Fi、SIMカードなど)	₩	267,000	29,000	円
食費			300,000	円
通学に要する交通費				円
交通費 (通学以外のバス・電車・タクシー等)	₩	200,000	21,000	円
旅行費	₩	1,600,000	165,000	円
教科書、教材費	₩	120,000	13,000	円
その他大学に支払った経費				円
その他 (シーツ、枕、掛布団代)	₩	27,500	3,000	円
娯楽費 (私的な買い物など)	₩	6,510,000	670,000	円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	現金で国際交流課へ手渡し
住居にかかった費用	現金で国際交流課へ手渡し
その他	基本クレジット決済

3-3. お金の管理方法

渡航時	✓	現金 100,000 円			その他 () 円		
留学中	✓	海外送金		キャッシング	その他 ()		
現地での 口座開設	✓	開設した	用意した書類や 気を付けること等 (大学内での新韓銀行 外国人登録証が必要なので最低でも1か月後)				開設しなかった

4. 学業面

4-1. 履修科目一覧

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換			
1 グローバル文化とコミュニケーション	正規	3		有	✓	無
2 実用ビジネス韓国語	正規	2		有	✓	無
3 大学韓国語：聞く話す	正規	3		有	✓	無
4 旅を通して出会う韓国の歴史	正規	2		有	✓	無
5 韓国文化の理解	正規	2		有	✓	無
6 日本語学の理解	聴講	3		有	✓	無
7 TOPIK高級	正規	2		有	✓	無
8 韓国映画と社会	正規	2		有	✓	無
9 大学韓国語：読み書き	正規	3		有	✓	無
10 K-ドラマと韓国語	正規	2		有	✓	無
11 世界の絵本で学ぶ韓国語	正規	2		有	✓	無

4-2. 授業科目の選択，登録方法

仁済大学の学生サイトを通して履修登録します。学期初日に、バディとなってくれる現地学生の子と共に大学サイトの登録、履修登録を行います。後期も続けて留学する場合は、学期開始前に事前履修登録が可能です。

4-3. 授業内容，方法に関して

1コマ50分になります。3単位の授業だと、週に3時間のため2日に分かれることがあります（火曜：1・2限と水曜：1限など）。また、初回はほとんどの授業がOTとなり、必要な教科書や評価方法についての説明があります。教科書はキャンパス内の書店ですべて購入できます。課題では、パソコンかタブレットで作成するものも多いです。

4-4. 語学力について

仁済大学は特に語学スコアを必要としていませんが、中級くらいはないと授業について行くのが大変だと思います。留学生向け授業のなかに「大学韓国語」という基本4技能（話す聞く読む書く）を学ぶ授業がありますが、使用している教科書の内容は難しく中級～上級レベルでした。

4-5. 図書館など学内施設について

図書館には、1階にロビーとカフェがあり、地下に24時間開放の自習室、6階までが図書館になっています。地下の自習室は、席予約制でテスト期間になると夜遅くまで多くの学生が集まります。
学内には3つのカフェがあり、学食やキンパ（海苔巻き）などを売る軽食屋もあります。私のおすすめは、軽食屋（学食の建物の2階）で売っているタッカンジョンです！唐揚げを甘辛ソースに絡めた料理ですが、サイズが選べて安くて美味しいのでよく買って食べていました。

5. 生活面

5-1. 住居について

大学内の寮は2人部屋、個室には机・椅子・ベッド・クローゼット（広くはない）・シャワールームがあります。難点は冷蔵庫がないことです（各階に1個電子レンジとウォーターサーバーはあります）。1階にはコンビニがあるため便利です。3階にはランドリーとジム、コピー機などがあります。基本的に入口に警備の方がいて、カードキーでゲートを通るため安全でしたし、寮内は比較的綺麗で住みやすかったです。

5-2. 食生活について

寮では料理をして自炊することができなかったため、基本は外食でした。冷蔵保存が必要ないものは保管できるため、パックご飯やフリーズドライのスープ、パンとジャムなどを買っておいて、朝食は部屋で済ませることが多かったです。大学の学食は11時～18時半まで営業しているため、昼食・夕食で利用できます。大学前にもたくさんの飲食店がありますので、メニューには困らないと思います。

5-3. インターネット環境、携帯電話について

寮の各部屋にはWi-Fiがあり、学内も基本的にはWi-Fiがあります。携帯電話はe-simを買い足しながら使っていても問題ないと思います。ただ、韓国では国内契約の電話番号を使ってあらゆるアプリの認証が行われるので、こちらで契約した方が便利ではあります。私は最初の2か月はe-simを購入し、外国人登録証が手元に届いてから韓国のKTという携帯会社（アルトゥポンという格安sim）で契約しました。他の留学生は契約していない人も多くいたので、どちらでも問題ないと思います。

5-4. 服装について

釜山は雪は降らないのですが、冬は千葉に比べればとても寒いです。ただ、韓国内でも服は安いものから品質がいいものまで買えるので、あまり日本から持っていなくても良いと思います。また、女子は特に日本と韓国で服のテイストが違うので、韓国で服を買う方が楽しいかもしれません。韓国にもユニクロがあったり、GUのような安めである程度品質のいい服屋があるので心配いりません。

5-5. 健康管理について

私が留学中には自分も含め、周りで大きく体調を崩した人はいませんでした。ただ、以前にはインフルエンザが寮内で流行ってしまい、留学生も病院に行って薬をもらったということもあったそうなので、普段の体調管理は大切です。また、軽い風邪になった留学生はいましたので、風邪薬やのど飴などを持ってくるのがいいと思います。大学前にある薬局でも、症状を伝えれば薬を買うことができます。

5-6. 保険、危機管理サービスの利用について

私は韓国に来て間もなく、両目角膜炎になってしまいました。原因は韓国で買った安いカラコンが目にならなかったことで、目の充血がありました。すぐに眼科に行き、目薬を処方されました。まだ外国人登録証も出来ていない状態で、韓国国民保険が効かず焦りましたが、留学生であることを説明してパスポートで無事に診察を受けることができました。後日、保険会社に連絡し、もらった診断書や病院でのレシートなどをソウル支部に郵送することで全額請求できました。（帰国後に日本のオフィスに提出でも請求可能です。）

5-7. 課外活動について

私は加入しませんでした。仁済大学にはサークルもたくさんあります。これらは仁済大学の学生サイトで確認し、加入することができます。また、最近留学生のダンスサークルも新しく出来て、定期的な練習やプロのダンサーの方に見てもらいなどの本格的な活動をしていて楽しそうでした。（私が仲の良かった留学生の子がサークル長になっていました！）

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

基本、学外でのコミュニティとの交流はあまりないかもしれません。私は釜山で開催されていた日韓交流会に一度参加しました。そこでは日本語を話したい韓国人と、釜山に来ている日本人留学生の交流の場で、ゲームなどをしながら日韓両言語でコミュニケーションしていました。友人作りや韓国語上達を目的に参加するのも面白いと思います。

5-9. 日本から持参してよかったもの

圧倒的に味噌汁です！韓国では、日本と同じようなものが売っていることも多いですが、味噌汁の素はあまりありません（売っていても少し高いです）。そのため、味噌汁は持ってきた方がいいと思います。あとは、配れる日本のお菓子があると、友達に渡すと喜ばれるので、余裕があれば持ってくるといいです。

また、韓国はプラグの形が違うので変換プラグは必須です。私は海外対応の延長コードを持参し、そこに日本式コンセントを差して使っていました。

女子に関しては、生理用品は普段自分が使うものを日本から持って行った方がいいと思います。韓国でも調達できますが、肌に合わない場合があります。

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

洗面用具や日用品はあまり要らなかったかなと思います。大学前にダイソーがあるので、そこで必要な物は購入できます。韓国のダイソーは日本と少し違って可愛いデザインのものも多いので、コップや食器を買うのは楽しめると思います！また、歯磨き粉や化粧品なども、大学前のオリーブヤング（ドラッグストア）で揃うので、すべて持ってくる必要はありません。

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い, マナーなど)

韓国には「情文化」があり、基本的に優しく温かみのある人柄の方が多いです。ただし、何事も言わないと伝わりません。当たり前のようですが、分からないことは分からないと言うことが大事です。困ったことがあれば、どうすればいいのかをためらわずに聞くことで、すぐに解決することが多かったです。また、釜山の方言は少し語調が強く聞こえてしまいがちですが、怒っているわけではないのであまり気にすることはありません！

5－12. 余暇の過ごし方

旅行

済州（チェジュ）島へ旅行 期間：2024年5月31日～6月2日（2泊3日）費用：約32万₩（約3.5万円）内容：島内観光
ソウルへ旅行 期間2024年11月28日～12月2日（3泊4日）費用：約55万₩（約5.8万円）内容：観光・コンサート鑑賞

その他

韓国にもカラオケがあり、大学前にもたくさんあります。日本よりも気軽に1曲500₩や3曲1000₩という場所も多くあり、少しの時間つぶしにも出来ます（もちろん30分や1時間など時間制もあります）。また、バスに乗れば「ヨンジ公園」という桜やチューリップが綺麗な公園や、現代美術のある「クレイアーク金海美術館」に行くことができ、おススメです！

6. その他

6－1. 留学希望者へのアドバイス

留学の最初には「現金」がすごく重要になります！仁済大学は、事前資料で寮費や保険代、登録証の申請代などの初期費用はすべて現金で用意しておくように指示があり、国際交流課の事務所に現金で渡しに行くという形でした。また、寮での洗濯も1000ウォン札と500ウォン硬貨が必要になります。そのため、渡航時の現金はなるべく多く持っているほうが良いと思います。もちろん韓国は基本カード社会なので、クレジットカードが使えますが、店によってはうまく読み取れずにこのカードは使えないと言われることもあるので、複数枚準備しておくといいです。

6－2. 留学を終えて

私は大学4年の時に留学を決意して、卒論を提出せずに大学生を1年延長する形で留学に行きましたが、本当に行ってよかったと思っています。韓国の人を中心に様々な国籍の友達ができ、色んな考え方を知ることができたのが一番大きな収穫でした。私は留学中、積極的に人とのコミュニケーションをとるようにしていたこともあり、前よりも自分の意見や主張を言えるようになったと思います。また、友人から言われることを通して、自分がどんな人間なのかを考えることもできました。韓国に限ったことではないかもしれませんが、日本に比べて人との距離感が近いので、最初は戸惑うことも多く、友達との接し方に悩んだこともありました。しかし、徐々に慣れれば気軽に楽しくコミュニケーションできるようになりました。そのため、海外で人間関係をうまく築けるか心配になる方も多いと思いますが、あまり心配はいりません！